

園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報

RENDEZVOUS

(ランデブー)

『肉料理大天狗』からみえるもの

短期大学部学部長
(生活文化学科教授)川原崎 淑子



日々の食卓に肉類は魚以上に身近な食品として登場しているが、狂牛病、鳥インフルエンザなど食肉を巡る深刻な問題も抱えている。時代は異なるが、明治初期の文明開化の牛肉解禁は庶民にとって大問題、いや「食の大革命」であったと想像する。福沢諭吉は早くから滋養に肉食を勧め、さらに牛乳を飲むことを奨励したが、肉食解禁後の庶民は食べ慣れない食材とどのように向き合ったかは大変興味深いところである。

文明開化の風潮のもと『西洋料理指南』『西洋料理通』など、肉料理や珍しい調理道具を紹介した料理本が刊行されている。またそれと同年代に関西で出版された『肉料理大天狗』がある。私がこの本を手にしたのは、江戸時代の料理を調べる中、文明開化時の肉料理を知りたくなり、捜し求めて得たものである。

『肉料理大天狗』の序文を今風に解して紹介すると「西洋人の日常の食事を元に、自らが食べることを考え、より食べやすく、より美しくアレンジしてご飯にもお酒にも合う料理に仕立てたものである」とある。オリジナルの西洋料理を見事に日本ナイズする調理法を天狗の術になぞらえ、〈本家の料理〉を凌ぐ出来映えであると、自画自賛してのタイトルの由来と想像する。本文記載の料理13例のうち、数例紹介すると

鞍馬焼き (ロース)・・・「鞍下の肉を丸串に刺し、こんろの上と下の段に火を入れて焼く、この道具をスドウとよぶ (オーブンのことか)」とあり、これはローストビーフであろう。

虎の巻き (シチューリ)・・・「ロース肉10切れを細かく切り、野菜や小麦粉、牛乳、水を入れて煮る」、これは文字通りシチュー。

ひよどり越え (ビシテキ)・・・「もも肉をたたきのばし、スドウにて焼き、水に冷やし、しずくをたらし、表面に胡椒をふりかけ、再び焼く」とあるが、この方法で焼くとさぞ硬くなったことか。現在のビーフステーキの調理法とは違う

ようである。

三国一・・・「肉を小口に切り、醤油につけて小麦粉をあわせ、これを衣にして油で揚げる。」これは竜田揚げと思われる、なぜ三国一かはきっと他に無いくらいの美味しさからではないか。

その他変わったものでは

吉野ずし・・・「そぎ切りした肉を塩漬けし、7日置いて水洗いの後、しずくを垂らし、焼酎に浸してすしめしの上に置き、5日ほど仕込む」とあり、おそらく鯖や鮭に代わり、すしに肉を使っているところが文明開化を象徴するような試みとして大変おもしろい。

『肉料理大天狗』では食経験のない料理に挑戦しながら、歌舞伎や浄瑠璃で馴染みのある演目で、庶民の関心を引きつけ、さらに我が国の食文化の土壌に合うようアレンジし、肉料理を紹介した姿勢には大いに学ぶべきところがある。西洋料理では肉を美味しく食べるために、香辛料や香味野菜を使い、肉臭の除去や肉質の軟化に工夫を行っている。しかし『肉料理大天狗』では香辛料は使わず、肉に塩をし、また洗い落としている。塩を振るだけでなく、さらに洗うとは肉臭の除去操作であったとしても、食すと大変硬いと思われる。

西洋人の食べようを真似ての肉食は、開化の風潮に乗り遅れまいとする日本人にとってのチャレンジの一つでもあった。

明治期の食の文明開化とは、西洋料理の代名詞でもある肉料理をいかに取り入れるかであった。長らく仏教文化のもと、肉食を慎んできた庶民にとって、食文化の「壁」を乗り越えるには如何ほどの決心が必要であったことか。

牛・鹿・猪・鶏の挿絵をほどこした本文僅か十数頁の綴じ本ではあるが、ここには当時の食文化の大革命とともに、庶民が新しい時代を受け入れようとする文明開化の息吹が聞こえてくる。

News & Topics

「利用しやすい図書館をめざして」

ー図書資料を見やすく、探しやすく、使いやすくー

本図書館（1965年創設）は、学生数2,000名ほどに対し、蔵書数約29万冊、逐次刊行物約1,200タイトル、視聴覚資料約14,000点、電子ジャーナル(フルテキスト)約2,000タイトルの図書資料を提供している。

文学部として開学された経緯から、近松門左衛門の浄瑠璃や万葉集およびその周辺に関する写本・版本を蔵する吉永文庫、「ヴィクトリア朝英国詩集」のコレクション、文学者の個人全集など、文学関係の資料が充実しているが、現在は、学部新設による新たな蔵書群の充実を進めながら、図書資料の有効的な活用促進に重点を置いている。

学習支援面では、学年進行に対応した「図書館利用ガイダンス」や「相互利用」等のレファレンスサービスに加え、図書館情報ポータルサイト「My Library」によりサービスの拡充に努めている。とくに重要視していることは、学習に必要な図書がほしいときにすぐに手に入る環境づくりである。現在、実習支援室などを対象とした「別置図書制度」により、実習、国家試験、資格試験、採用試験等に役立つ図書の配置をおこなっている。また、図書資料への興味・関心が高まるよう、書店にて直接図書を選ぶ「選書ツアー」等のイベントも開催している。地域貢献面では、尼崎市、伊丹市、西宮市在住の市民を対象とした地域開放。施設設備面では、定期的な図書整理・蔵書点検により固定資産の把握をおこない、不明図書の補充、重複図書資料の除却等収納スペースの確保と図書資料探索の迅速化に努めている。

2012年度

- ・全館書庫整理・移動（3年計画2年目）：電動式集密書架内「洋雑誌」約260タイトル、「和図書」4階(NDC 920～999)約1万冊・5階(NDC 000～139)約1万冊を5階電動式集密書架に移動
- ・4階・5階「和図書」全体の移動（約1万冊）
- ・図書館3階フロア配置変更：図書資料展示ブース（特設コーナーの設置）



2013年度

- ・全館書庫整理・移動（3年計画3年目）：4階を中心に実施
- ・図書資料展示ブース（特設コーナー）：3階フロアに常設し、定期的に内容を変更
- ・NDC（日本十進分類法）9版による分類番号の見直し



クリスマス(2013.12)



貸出大賞(2014.2)

2014年度(予定)

- ・全館書庫整理・移動：5階を中心に、昨年度までにできなかった分を実施
- ・特設コーナーの定期的開催：3階フロアに常設し、定期的に内容を変更
- ・NDC（日本十進分類法）9版による分類番号の見直し
- ・3階の情報収集用・蔵書検索性用パソコンコーナーおよびカウンターの一部をリニューアル

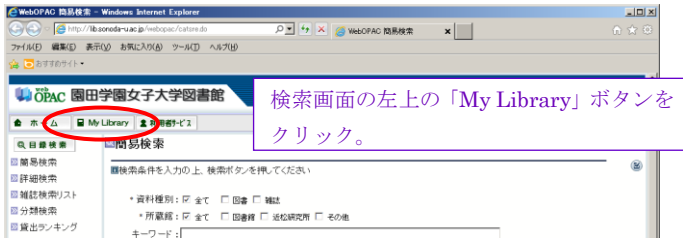
『My Library (学生・教職員専用ページ)』を活用しよう！ー利用状況の確認編ー

【利用状況の確認でできること】

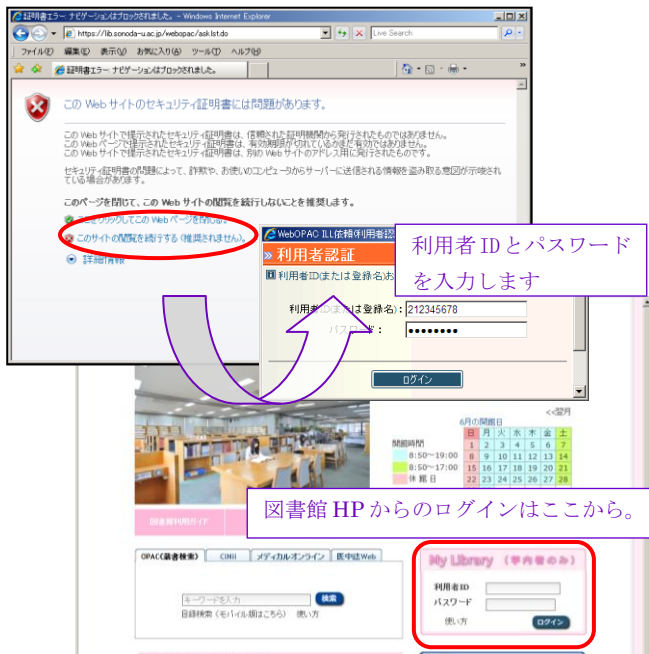
- ・借出中の図書のタイトルや返却期限の確認 ←Pick UP!
- ・貸出履歴の確認
- ・利用者情報の修正(メールアドレス、電話番号)
- ・予約・複写依頼・貸借依頼・購入依頼の状況確認

【確認手順】

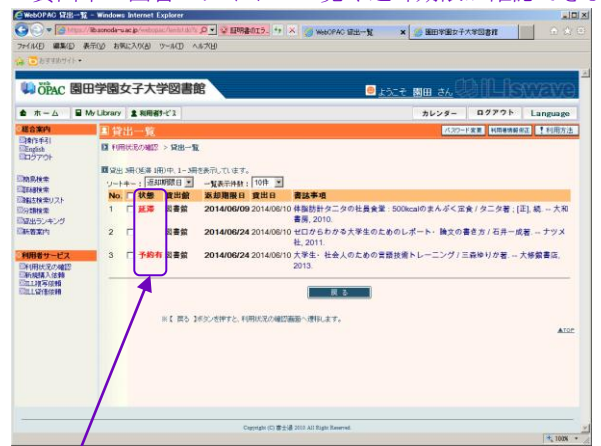
①My Library ログイン



②セキュリティ上の確認および利用者認証



③「貸出」をクリックすると「貸出一覧」画面になり、貸出中の図書のタイトル一覧や返却期限が確認できます。



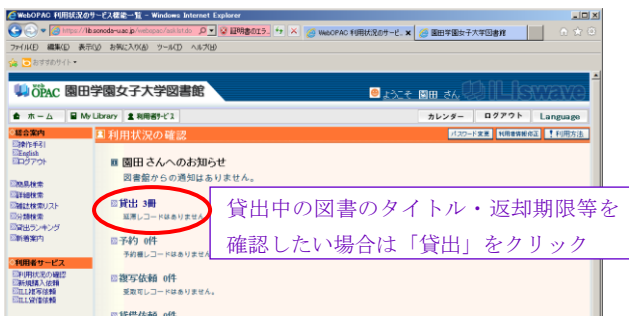
「状態」に以下の表示がある時

- ①「延滞」返却期限を過ぎています。速やかに返却してください。遅れた日数分貸出停止になります。
- ②「予約有」他の利用者の予約が入っています。貸出期間の延長は行えませんでご注意ください。

「状態」に何も表示がなければ、延滞も予約もありません。貸出期間の延長も可能です。延長をご希望の際は、更新したい図書を持ってカウンターに申し出てください。

使い終わったら必ず「ログアウト」してください。

③利用状況の確認画面が開きます。



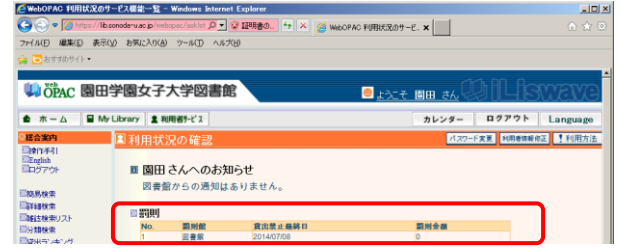
返却期限を過ぎている図書がある場合、以下のようなお知らせが表示されます。

貸出 3冊 (延滞 1冊)
状態 貸出館 返却期限日 書誌事項
延滞 図書館 2014/06/09 借読計女子大学の社員食堂: 500kcalのまんがく定食/タニタ書; [日] 続 - 大和書房, 2010.

～罰則について～

返却期限を過ぎて図書を返却された場合、それぞれの延滞日数を合算したものが、貸出停止期間となります。

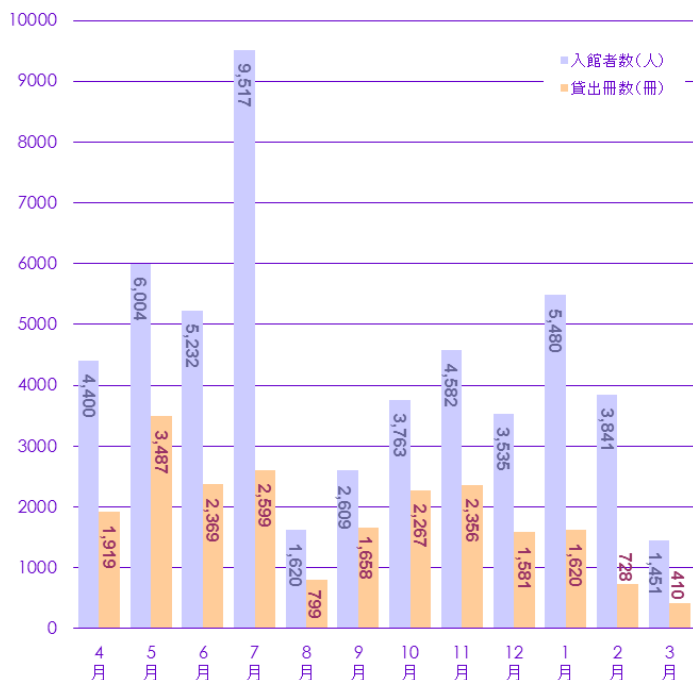
- 例 1) 貸出中の 5 冊すべてを、期限を 2 日過ぎて返却の場合
2日×5冊=10日間の貸出停止
- 例 2) 貸出中の 5 冊のうち、3 冊は期限を 2 日、残りの 2 冊は 1 日過ぎて返却の場合
2日×3冊+1日×2冊=8日間の貸出停止



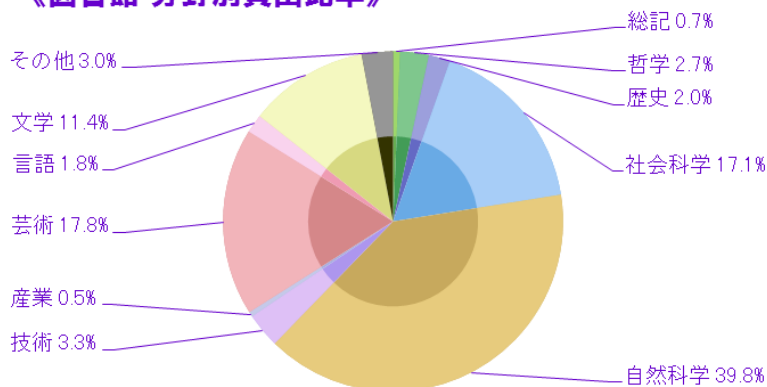
貸出禁止期間中は、「罰則」項目に「貸出禁止最終日」が表示されます。表示されている日までが貸出禁止となります。

Library Data (2013年度 利用統計)

《図書館 月別入館者数/貸出冊数》



《図書館 分野別貸出比率》



《貸出状況》 近松研究所含む () 内 2012年度

利用者区分	貸出冊数	利用者数
学 生	14,042 冊 (12,659)	6,493 人 (5,761)
教 職 員	2,529 冊 (3,137)	921 人 (1,057)
そ の 他	5,333 冊 (5,438)	2,382 人 (2,380)
合 計	21,904 冊 (21,234)	9,796 人 (9,198)

《受入状況》 近松研究所含む () 内 2012年度

資料区分	受 入 数	累 計
図 書	和 書 2968 冊 (3,409)	247,416 冊 (246,207)
	洋 書 10 冊 (88)	41,146 冊 (41,131)
	合 計	2978 冊 (3,497)
逐次刊行物	318 タイトル (330)	1,193 タイトル (1,184)
視聴覚資料	765 点 (486)	14,950 点 (14,574)

《相互協力利用状況》 () 内 2012年度

利用区分	受 付	依 頼
文献複写	340 件 (392)	597 件 (600)
図書貸借	18 件 (23)	8 件 (5)
閲 覧	10 件 (1)	1 件 (1)
合 計	368 件 (416)	606 件 (606)

《AVブースコーナー 視聴数》 2,488 件

《レファレンス (文献所在調査・利用指導など)》 400 件

編集後記

使いやすい図書館をめざして、昨年度のテーマ展示台の導入に引き続き、今年度は3階の情報収集・蔵書検索用パソコンコーナーと、カウンターの一部をリニューアルいたします(9月導入予定)。特に、パソコンコーナーは、落ち着いて使ってもらえるように変わります。

より使いやすくなった図書館にぜひお越しください。

(古谷・小林)

RENDEZVOUS 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館報 No.41

[発行日] 平成 26 年 6 月 30 日 発行所 園田学園女子大学・園田学園女子大学短期大学部図書館
〒661-8520 尼崎市南塚口町 7 丁目 29-1 Tel : 06-6429-9931 Fax : 06-6429-2822
http://www.sonoda-u.ac.jp/tosyo/ E-mail:lib@sonoda-u.ac.jp

誌名「RENDEZVOUS」の由来

1998年3月発行の25号から「図書館ニュース」を誌名変更。一谷宣宏理事長の命名によるもので、「図書館は、様々な知との出逢いの場であり、本学を離れて後もその知が必要となすときには出逢いを求めて来ることができる」との意味を持っている。